



No. 3
 発行
 神戸市須磨区横尾9丁目
 5番1号
 TEL 741-1501(代)
 啓明女学院内
 金星会

チャペル前ホールに 木彫の大壁画飾られる

木彫り「光」

学院長 モース・サイトウ

このたび、啓明女学院のために製作された芸術作品が置かれることになりました。高さ四・三メートル幅三メートルという、とても大きな木彫りの作品で、制作者は札幌で布教中の宣教師の先生です。先生はどちらかといえば小さな木彫り作品で有名な方ですが、このたびの作品が、先生の代表作となると思われま

(写真は毎日新聞より)



カイトン牧師(左端)と作品

ますし、札幌にある先生の「十二使徒教会」は、この数年間で驚くほど大きくなりました。さてこの木彫りの作品の中には本物のローソクを立てるのです。さぞきれいでしょね。この美術品は、すでに、啓明女学院所蔵のすばらしい芸術作品として日本中に知られたることでしょう。

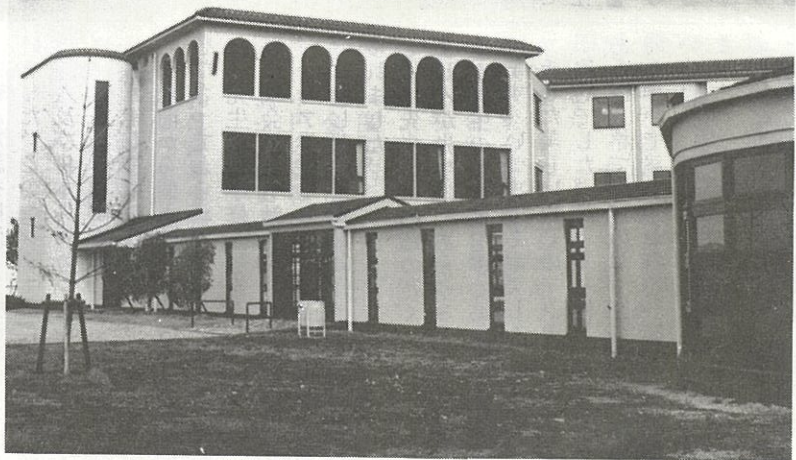
同窓生の皆様にも是非この美しい彫刻を御覧頂きたく、思いますので、啓明女学院にどうぞお越し下さい。

母校校舎 増築される



愛もて光の輪たらん

同窓会長 渡辺 カナコ



会員の皆様、寒さ尚厳しき中にも、白梅紅梅の蕾がほころび始め、そこはかとなく春の訪れが感じられますが、お元気でいらっしゃいますか。それぞれの場で御活躍の事とおよろこび申し上げます。日頃は「金星会」の運営、活動に多大のご理解と御協力を賜わり、誠に有難うございます。この同窓会報が、あなたのひとときの心のオアシスとなることを願ってお届けいたします。

さて母校が、須磨は横尾の広々とした地の瀟洒な白亜の学舎に移転して、はや二年九ヶ月の歳月が流れました。六十年六月には、神戸市営の地下鉄「三宮」―「妙法寺」間(十五分)が開通して、啓明への交通は至便になり、益々の躍進が期待されます。

本年度の啓明女学院高等学校への入学志願者は、募集人員五百二十名に対し、過去最高の四千三百四名に達し、私達同窓生といたしましては意を強くするものであります。美しい自然の緑と清澄な空気に恵まれた、真新しく、明るい清楚な学園で、建学の精神に基いた伝統あるキ

リスト教々と英語に堪能な国際婦人の育成がなされ、神のみに添った姉妹達が次々と世に送り出されております。

私達はミッションスクール啓明に学んで本当に幸せである、と思えます。私達は、神の存在とその無限の愛を知らされました。如何に生きるべきかを教えられました。啓明で過した六年間、或は三年間に培われた無形の精神教育が、世に出て段々の理で咲き実を結んでまいります。人はその人生で、「何を成し遂げたか」より「どのように生きたか」の方が大切である、と申します。その生き方の根源、「愛」と「誠」でもって、啓明の卒業生が世の光となつて、あまねく全世界にきらめくのも、そう遠い将来ではないと信じます。「金星会」のメンバーがその名の如く輝き、相互に堅い絆で強く結ばれ、光の輪となつて広がっていきましょう。

それでは五月二十五日の総会で、皆様にお逢い出来るのを楽しみにしております。

校舎増築、施設充実す

教頭 中山武男先生

須磨キャンパスで三年目を迎える。緑も濃やかに、キャンパスは若木に映えてきた。生徒激増期を迎え、更に施設の充実完成を目ざして、移転した翌年、早くも増築を計画し、工期、その他建物の構造等次のように定め着手した。

1. 場所 C棟の西側
2. 名称 H棟
3. 構造 鉄筋コンクリート造三階建及び渡り廊下
4. 面積 (イ)校舎延 一三三九、七㎡ (ロ)渡り廊下 一一八、八㎡ (計四六八、五㎡)
5. 仕様 (イ)校舎一、二各階中廊下普通教室四室及び準備室、トイレ湯沸場、三階集会ホール(多目的)及び準備室、トイレ、湯沸場 (ロ)渡り廊下、室内型、中央部輻輳断口
6. 工期 着工59年7月20日 竣工60年2月10日

現H棟を増築すると同時に、二階職員室を拡張し、それに伴う小会議室、印刷室、更衣室、図書室、及びC棟各階廊下、中学三教室などを改装を施した。

工事はすべて順調に進行し、予定通り竣工、竣工式は六十年四月八日、今年度最初の職員、講師参列の下、本校の理事、評議員をお招きし、生徒会代表の役員参列をなして、質素に爽やかに行われた。H棟三階の集会場(小ホールと呼ぶ)を式場とし、陽光のさんさんと輝く窓辺は平和そのものであった。

その後、この三階小ホールに45吋テレビ及びビデオセットを設置、各科ともこの教室の使用は盛んである。

因みにこのテレビ、ビデオセットは育友会のご寄贈で、またB棟各階にウォータークーラーをもご寄贈されたことを併せて報告しこの紙面をお借りして厚く感謝申し上げます。

題字「金星」は、第一回卒業生、副理事長 勝部美智子氏による。

昭和61年度「金星会総会」ご案内

日時： 昭和61年5月25日(日) 正午～15:00
 場所： オリエンタルホテル 11F スカイレストラン
 会費： 3,500円(新会員38回生は3,000円)
 プログラム： 昼食懇親会・報告事項・アトラクション・福引き
 申し込み〆切日： 5月15日(準備の都合上、同封のハガキにて出欠の御返事を) 5月15日迄に必ず御返送下さい。

出席の返事を出されて、無断欠席の場合後日、会費をいただきます。万一、不都合が生じた場合は、2日前(5/23)までに、下記に必ず御連絡下さい。

渡辺(078) 241-2089
 高瀬(078) 741-7670

六十一年度総会を左記の如く開催致します。懐しい恩師を囲み、新旧同窓生相集い、楽しい初夏のひとときを過そうではございませんか。皆様お誘い合わせの上、多数御参加下さいませ。詳しくは左欄をごらん下さい。

Ruth Taylor Saito, Keimei Teacher

On July 19, 1948 Ruth Taylor turned 21. The next month she was sailing for Kobe, Japan. By September she was living at Keimei, teaching a full load and learning much about Japan. In the evening she taught twice a week at Palmore and helped with many groups such as the YWCA and various Bible classes.

Two years later Ruth Taylor married a Palmore teacher and became a fulltime Palmore teacher. However she remained in touch with Keimei and helped with the Keimei Senkoka from 1966 to 1970.

In the spring of 1950 Ruth Taylor appeared in a movie about the life of Dr. Hideo Noguchi (portrayed by Masayuki Mori). She was Mrs. Noguchi in the film. Ruth also continued studying up to the time of her death. She finished her Master's degree at the University of Michigan in 1956, majoring in linguistics. In 1975 she graduated from Emory University with a Master's degree in theology and went on to become one of the few ordained women ministers in the Methodist Church.

During the past ten years Ruth Taylor Saito was active in the women's movement and the church, besides teaching at Palmore. She did a great deal of counselling in the international community. Also, she wrote the words to a peace musical. She also did the words for a musical yet to be published.

We spent much time discussing life and living. Death, too. In order to live we felt it was important to know about death. She did not fear death, but prized life. In April Ruth started a round-the-world trip with three months in the United States to visit churches. Her sudden illness overcame her and she died June 30.

Morse Saito

神のみもとで安らかに眠られんことを お祈り致します

天に召された先生方

- ルース・テラー・サイトウ先生 (院長夫人) 昭和60・6・30 帰天
吉村 三次 先生 (元副院長) 昭和60・11・16 帰天
隅谷 道治 先生 (教頭) 昭和60・10・5 帰天
増田 伊太郎 先生 (元教諭) 昭和60・7・11 帰天

吉村 元副院長先生を悼む

称津 茂実 先生

飛田院長先生の娘婿であられた吉村三 次元副院長先生は昨年十一月十六日、急 逝されました。享年七十八歳。

先生は、四十八年から五十五年の間、 啓明女学院に迎えられ、大きな働きをな さいました。丁度、過渡期にあたる時で もあり、京大出身の先生は、啓明をよく するのは教師の待遇であると、主計将校 の経験を生かされ、給与体系等体質改善 に着手され、ご苦労も多かったと思いま す。先生は積極的にご自分の考えをのべ られ、時々難解な質問で教師の資質を試 された時など冷汗ものでした。生徒・教 師を信頼されその期待に答へべく努力し たものです。また、社会科教師としても 常に研鑽され、計報の時までよく読書さ れた先生、公私共教えられることの多か った先生に深く感謝し、卒業生と共に、 ここに謹んで哀悼の意を表します。

ルース・サイトウ先生をしのんで

4 回生 王 和子 (旧姓 平井)

ルース・サイトウ先生 (テラー先生) は今年の六月三十日にニューヨークで亡 くなられました。突然の通知に私達クラ スメイトは大きなショックを受けました。 私が先生に最後にお会いしたのは、今年 の二月で、美しい姿が今だに心に残っ ています。七月十四日に神戸のユニオン 教会で追悼式があり、大勢の方々が出席 されました。

私が啓明の高校時代に先生が英語の発 音を一生懸命に直して下さったことをよ く憶えております。白いレースのブラウ スに黒のフレヤースカートのお姿でさっ そとクラスにいられた先生はいつも熱 のこもった授業をもちました。美しさ と知性にあふれた先生は各方面で人気が あり、映画、野口英世に妻の役で出演さ れたことがあります。私達が在学中に先 生は現モリス・サイトウ院長と結婚式を 神戸の栄光教会で挙げられ、私達のクラ スも御招待をうけて出席いたしました。 啓明を卒業して二十九年間先生にお会い する機会がありませんでしたが一九八一 年より四年間、私は再び先生にお会いす

隅谷先生をしのんで

中山 武男 先生

先生が腰痛を訴えられて休まれてから 急速に病気が進行したに違いないが、誰 も不治の病とは知るよしもなく、昭和五 十九年も暮れ、六十一年の正月を迎えた。 先生は既に休職中にもかかわらず、病を 押し登校せられ、さし迫った高校入 試の指導に精魂を傾けられた。何事にも ゆるがせにしない御人柄であった。

先生は大正十年三月一日、静岡県で生 誕、旧制京都帝国大学工学部を卒業され 昭和二十年九月に敗戦混乱の社会に巣立 された。愛媛県立今治高校、兵庫県立 神戸高校、神崎工業高校、北須磨高校、 出石高校校長、東灘高校校長を最後に公 職を去って本校に移られた。 温顔の中に厳しい教育観を以って生徒 職員に接し、専攻理科においては新し い施設的设计、指導はもとより、教頭と して、本校将来の方針、設計樹立に腐心 し精魂を尽されたが、終に天の召すこ ろとなった。享年六十五歳であった。 後、従五位勲四等瑞宝章を賜わる。

増田先生をしのんで

木村 和也 先生

故増田伊太郎先生は、明治三十四年兵 庫県加西市で出生され、大正五年加西 郡の小学校を皮切りに、小学校・中学校 を二十五年間勤務。その後、昭和十六年 から二十二年間六甲中学、昭和三十八年 から同五十二年三月まで本学院に勤務さ れた。

本校在勤中は、訓育主任として一貫し た指導精神で以って、生徒に対しては厳 しさに徹し、その中で豊かな愛情を感 じさせた。 その訓育、生活指導の精神は、本校の 伝統となり、今に生かされている。 昭和六十年七月十一日訃報に接し、七 月十三日六甲カトリック教会にて告別式 が行われ、多数の関係者が参列された。 ここに悼んで心より哀悼の意を表し ます。



故 増田先生

増田先生をしのんで

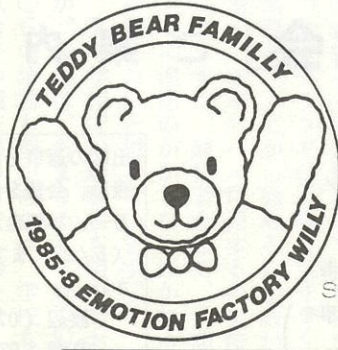
33 回生 西村祐里 (旧姓原田)

増田先生といえは、あの真夏の体練の 様子が思い出されます。あの小さなグラ ウンドで全員が一つになるまで、何十回 と行進の練習をした日の事を…… 先生の肌は黒光りし、顔のしわから汗が 流れ出し「タッタタッタ」とかけ足をす るんだ」と言い一緒に走っておられた先 生。そうやって、協調性と忍耐を身をも って教えて下さったのです。そんな先 生の精神が、いつまでも啓明で教えつが れてゆくことを、私は祈りたい。

私は先生の御活躍のごく一部しか知り ませんが先生は、あらゆる方面でお忙し く、先生のお名前を多くの人々が知って います。いつまでも美しく、服装にマ ッチした美しい色彩のアクセサリーが、 印象的でした。誰にでも優しく、暖みが ある御人格で私達の月一回の集りのあと、 時々神戸で昼食やお茶を一緒に頂いた思 い出はつい最近のことのように思えます。 まだまだ御活躍して頂きたい私達の憧れ の先生に別れを告げなければならぬこ とは真に悲しい思いです。

33 回生 古石美代

60 年度 卒業生進路状況 (2月14日現在)
卒業生四〇九名 (確定者)
大 学 …… 九五名
短 大 …… 一〇二名
専門学校 …… 五四名
就 職 …… 一一八名 (未定八名)
「同窓生便り」募集
近況、御意見等御知らせ下さい。次回 「金星」に掲載させていただきます。住所、氏名 (旧姓)、回生明記の上、啓明女学院内金星会宛ハガキにて。切



ときめきグッズ!!

小物雑貨・服・アクセサリ、クッキー etc. 心のときめきを大切に...

Willy's WILLIAM'S



SHOP: KOBE sannomeiya, suma, ashiya, OSAKA umeda, naniwa city, SAKAIUP 11, TOKYO shinjuku alta, KYOTO shinkyogaku, NAGOYA getsuya

〒662 兵庫県西宮市門戸荘1の1 Phone0798(54)0301-0212 Emotion Factory WILLY CO., LTD.

なつかしい

先生方からの一言

八杉 貞子 先生

同窓生の皆様お元気でしょうか。今日は皆様の後輩が日々どんな活動をしているかをお知らせします。現在、中学校三クラス、高校三十二クラス、約一二十名の生徒が学業にクラブに健闘しています。

運動部ではクラブ十一・同好会四・愛好会一があります。文化部では、クラブ十五・同好会四・愛好会七があります。

バトン部は学校行事の時はおもより、五月の神戸まつり・八月の西宮市民まつり神戸の道路を守るキャンペーンPRパレード・一月の関西中高連盟バントワリングフェスティバルコンテスト(京都)に出場しました。聖歌隊は乞われて神戸市民Xマスに参加しました。中学生は神戸市小中書きぞめ展に十六名入賞し、金賞一、銀賞二、銅賞三を受けました。

各種検定も、本校伝統のタイプ検定をはじめ、珠算・ペン字・英語・パソコンの検定に多数が参加し、来年度から書道にも挑戦します。進学・就職試験も二年二八回行われます。

卒業生との出会いに喜びを

祢津 茂実 先生

いつまでも若いつもりでいたが、中学生からオジイちゃんと呼ばれるようになって、別に気にしないでおれるようになった。

毎年卒業生からくる年賀状をみて、啓明の教師でよかったと思う。たった三六六年の出会いが、年一度の便り、新婚あり、再婚あり、二一三児の母親あり、ほほえましい便り、大学、英検一級への挑戦、更に海外で活躍中とか、あの子がと思う生徒の生きざまに深く感動される反面、あの子は幸せかとも思う。今の啓明もずいぶん時と共に生徒達の

気質が変ってきたようだ。啓明らしさとか、啓明はこうあるべきだと思っても時の流れで、新しさを求めている。夏の制服も冬と同系統の色になり、啓明の特色が見分けにくくなったが、啓明らしさは卒業生との出会いで強く感じる。卒業生あつての啓明であり、卒業生の啓明でのよき働き、家庭・社会・それぞれの場で啓明を誇りに思い、お互いに生かされた証しに喜びあえるよう頑張りたいものです。

中尾 和子 先生

卒業生のみなさん、お元気ですか。活躍のことと思います。私も啓明女学院で十二年目を迎えるようになっています。懐かしい南北の旧校舎から新しい須磨の学舎に来て三年が過ぎ、相変わらず元気で頑張っています。年をとったせいか過去を振り返ることが多くなり、卒業された方々のあの時この時を思い出しながらおられる先生方とよく話をします。時代は刻々と変わり入学してくる生徒にもそれを感じさせられるこの頃ですが、現在は高2 Aクラスの担任、校務分掌は何と生活指導部なのです。結構うるさい教師になったと自分でも思うようになりました。

私生活では、息子たちも各々に社会人となり東京住いですが孫が二人、名実共に「ばば」になってしまいました。それも夫と海外へ旅行をしたりして鋭気を養っています。みなさん方も長い人生の中で、いろいろなことに出合うことと思いますが、どうぞしっかりと生きて行って欲しいと思います。お元気で。

「聖書を聞いて下さい」

原谷 勉 先生

同窓生の皆様、お変わりございませんか。相変らずの悪声で讃美歌を歌い、聖書の授業を続けております。卒業時に、「聖書と讃美歌、捨てないで、どこまでも持っていてほしい」と申しましたが、あなたのおそばにありませんか。人生の苦境、孤独の時、それらを聞いてみて下さい。きっと懐かしい学生時代がよみがえり、またあなたの心を励まし、慰めてくれることでしょう。

さて、私ごとになりますが、今春、「豊かな生命を求めて」(新教出版社発行

七〇〇円)と題する冊子を出版させていただきます。この数年間の授業(特に高三)やチャペル礼拝でとりあげた二〇冊の書物や人物を紹介しつつ、「生きることの意味」、「生命の尊厳」などについて、若者たちと一緒に考えてみたいと思つたからです。つたない文章ですが、同書に登場する人物や一つの言葉が、きっと皆さんの心を豊かにし、人生の道案内をして下さると確信しています。キリスト教書店や主要書店で求めて下さるようお願いいたします。

聖書と讃美歌をぜひ聞いて下さい。

原谷先生のサイン入り著書をご希望の方は、「金星会」事務所まで

奥村 修 先生

啓明の教壇に立つて、はや今年で九年になります。南北校舎の桜花が今でも懐かしく思われます。今年は一学生を受け持っています。前年卒業させた三年生の成長の速さに改めて感じ入っている毎日です。

斉藤 唯元 先生

金星会の皆様には健康のことと心からお喜び申し上げます。須磨横尾の地に移転して、はや三年が過ぎようとしております。私は相変わらず、生徒指導に明け暮れ、生徒の言動に一喜一憂する日々を送っております。

手島 勉 先生

卒業生のみなさん。その後、如何お過ごしですか。卒業後の進路のみならず、各自の生き方や生活環境は実に多種多様で便りをいただいたり、噂を聞くたびに、驚きの連続です。そして大いに喜び、嬉しくなっています。また時には、ちょっと悲しいこと、つらいことも小耳にはさむ場合もあります。そんな時、どうすることもできない自分に愛想がつかます。それでも一つ一つの便りや噂話が、自身にとって大きな意味を持っていることは今も変わっておりません。君達のメッセージが一人の教員を励まし、元気づけまた目を醒ますに充分であることは、考えば当然すぎる程、当然なのです。出会うの中で個人は単に個人に終始するのではなく、様々なつながりの中で、な

同窓会よりお願い

経費負担のお願い

前号で御願い致しました諸経費負担の件につき、たくさんの方々から御協力下さいました。まだ未納の方々も多くおられます。それで、この度も、負担金の御願いをする事になりました。

現在金星会々員も約一万人をこえるまじになりました。会員の皆様への会報の郵送料、またその他の御知らせ等の発送料が一度に約百万円ほどかかります。それで金星会活動費の不足を補うために一口千円の負担金を御願ひ致しております。御一人何口でも、自由に御願ひ致します。

これは終身会費の少なかつた二十五回生以前の方々にのみ、御願ひ致しております。左記の要領で御送金下さい。

なお、現在までに一四四名の御協力がありました。

振込み機関
太陽神戸銀行三宮支店
普通預金 口座番号三一〇七三九八
口座名 啓明女学院金星会 (必ず氏名と共に回生も書いて下さい)

又は、現金書留にて啓明女学院内金星会宛、御送金下さい。

メ切はありません。

金星会名簿を買って下さい

同窓会名簿が、母校創立六十周年を記念して、五十八年に出版されました。この件につきまして、前号で御知らせし皆様に買っていただく様に御願ひ致しました。おかげ様で二百冊は売れましたがまだ三百冊ほど残っております。各回の幹事の方々がたいへん苦勞されて住所を調べて下さって、やっと出来たものです。新しい名簿の発行は費用がたいへんかかりますので、当分は出来ないとはいえませんが、この機会にぜひ御買ひ求め下さいませ。

申し込み方法
①現金書留
頒布価格 一、一〇〇円
郵送料 四〇〇円
計 一、五〇〇円
〒656 神戸市須磨区横尾九丁目五
啓明女学院金星会宛

啓明女学院内金星会事務所にも販売してあります。

来たる総会に於ても販売致します。

国 第一回生より第三十五回生まで記載、五十八年度に出版いたしましたので、右記の金額に変更いたしました。

挙式、披露宴、ハネムーンの
トータルプランを経済学

二人の思い出、
素適にな〜れ。



お申し込みは
神戸: (078) 351-3390
阪神: (06) 413-3303

体力づくりに奉仕する=ギャレックス



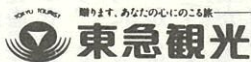
- 各種トレジャツ・トレパン
- 各クラブユニホーム
- スポーツ用品全般

スポーツマンの
心をとらえる!
ユニホーム

西井ギャレックス株式会社
神戸市北区花山台25-25
☎(078) 582-0033

人の数だけ旅があります。

- 新婚旅行……一生に一度のことだから、自分たちだけの旅が、してみたい。
- 家族旅行……旅に出ると家にいる時とは違う話しもできますし、家族のつながりも深まります。
- 職場旅行……前回の職場旅行は、現地で、テニス・ゴルフ・釣りのグループに分れて楽しんだのですが、好評でした。太陽の下で上司や同僚とすぞすのもいいですね。
- グループ旅行……学生時代の仲間と誘いあい、女同士でよく旅に出ます。お酒を飲みながら夜を徹して話す、なんて普段できませんからね。



東急観光 神戸営業所 神戸市中央区加納町4丁目4の17 (日生三宮ビル1F)
TEL (078) 331-7461 代表

クラス会

あれこれ

7回生クラス会

松本 康代

卒業後三年毎に必ずクラス会を開いており、永久に維持出来るよう恩師より、「七ツ星会」と名付けていただきました。私達の年代になりますと、子育ても終え生活も一応安定し心の余裕も出来、これからは自分自身の為になることをしようと云う声があり、五十九年より年に二、三回程度、親睦を深め教養を身につける目的で、有志だけ集っております。今までに行った事を紹介します。京都へバスツアー(伝統美探索の旅)、押絵(おひなさま作り)、須磨離宮公園(花菖蒲観賞)、六甲山(牧場、高山植物園)その日は結構童心にかかり、おしゃべりに花が咲き皆んな楽しく過しております。六十一一年は、押絵(カブト作り)、七ツ星会、高野山行き、と計画をたてております。



7回生 クラス会

出来るだけ費用のかからない様にして皆さん喜んで出席出来るような会に努力しております。将来私達は熟年を迎えるに当り、一日一日をいかに有意義に暮らしていけるかと云う事で、色々試みようと思っております。

12回生クラス会

竜田 裕子

御多忙にもかかわらず、先生方四人も出席下さり何より感激。三十五年に卒業以来初めての同窓会。十一月二十四日の県民会館の一室。一クラスだった中学の頃の集いなので遠方や、諸事情で来られなかった人達を除くと、ほんの少人数。でも、先生方からなつかしい思い出話で始まり、そのあと各自が思い思いの語り合いました。その度に爆笑やら大拍手。さぞやと思える苦労話でさえも、皆で聞き合えるその時の顔は、もうあの中学の頃の顔、顔、顔。同窓会とは、まず、出てみないと味わえない。何かがあるものと、またまた感激のひとときでありました。

19回生クラス会

梅岡寿美子

第十九回生、ACG組合合同のクラス会が啓明女学院新校舎の一教室を貸していただき五月二十二日水曜午前十一時よりありました。モリス斉藤院長はじめ、八杉先生、津津先生、山本先生、林先生、竹内先生、佐野先生、高瀬先生、木村先生、上村先生、松井先生、中山先生、多数の先生方に花をそえていただき、五十九名の出席者で楽しいひとときを過ごしました。久しぶりの集いで、それぞれ楽しい思い出をもつことが出来ました。先生方の変らぬ暖かいお心のおかげと、大変感謝いたしております。



19回生 クラス会

33回生3Gクラス会

西本 修子

「悪ガキ集団」と噂され、先生方を手こずらせた3G・美女達は今、一歩一歩オバサンへと近づきながらそれぞれ道を静かにかつ美しく歩んでいるのであ



S. 60. 11. 24
12回生 クラス会
鳥居、石井、津津、高瀬(橋本)先生

卒業後三回にわたる同窓会でクラスの三分の一は結婚、はたまたその半分は身分が異なるというすさまじくもウラヤマシイ有様です。一方私を含め、未婚のおバサン途上の女達も、あせりつつそのあせりを仕事へのエネルギーに変換することに成功し、がんばっております。

同窓生だより

16回生 溝橋 道子(旧姓 福田)
主人の仕事でイタリアのミラノに滞在する機会を得ました。行くまでは言葉や生活習慣等いろいろ心配をしていたのですが、イタリア人はとても親切であり、外国で生活をしているという感じがなく特に人間関係等は、サッパリとして、過しやすかった様に思います。むこうでの三年間は、自分でもふしぎなくらい積極的にになりました。何事によらず経験するという意気込みが大事だと思った次第です。

19回生 小野真智子(旧姓 原)
高校卒業後、神戸外大英米学科II部に進み、そのかわらぬ幼い頃よりしておりました詩舞の指導を始めました。大学卒業の頃には固い信念を持って英語とは全く無関係の詩舞への道を選んでおりました。主人は筒井八幡神社宮司の長男ですが仕事の半分は私と同じ道を歩んでおります。昨年の二月には四歳の娘も連れてヨーロッパへ六月にはアメリカ・ハワイ

へ公演に行き、今年はカナダ政府より二度目の招待を受けて参ります。今思えば啓明時代、外人の先生に接し、自ずから英語に興味を抱き外大へ進みました事現在わずかなりとも役に立っている事大変感謝いたしております。

24回生 稲垣久美子(旧姓 松浦)
昭和四十七年神戸銀行へ入行し、その後昭和五十一年に神戸風月堂の会社に入社し現在に就いております。私の仕事は、社長秘書とカッコはいいのですが、自分の時間は全く毎日遅い日ばかりです。毎日元気に過しております。後輩の皆様も頑張ってください。

28回生 秋富 雅子
卒業して早十年が過ぎようとしています。その間にいろいろな事がありました。数ある中で結婚が大きな転機だったような気がします。この世の中で、一人の人生に出逢ったことの不思議さには、今でも驚かされていきます。結婚を通し家庭の和、友人の和、社会的な和も自然と広がりました。今は岡山に住み主人と二人頑張っております。

33回生 内田 香織
今年神戸外大英米語学科を卒業します。就職も決まり、貿易関係の仕事に興味があり、三宮にある帝真貿易という真珠を輸出している会社に決まりました。社会人となる自覚をもちつつ残りの学生生活を有意義に過ごしたいと思っております。

母校クラブ紹介

国宝 郁子 先生

同窓生の皆様、啓明も年々クラブが増し、現在運動部(16)、文化部(26)になっております。

最近、根性とか、熱意とかという言葉はどうも流行りやなくて、スマートさカッコ良さが受けているようです。

その現れか、三年間一つのクラブで、とことん頑張る者が少なくなってきました。しかしたとえレギュラーになれず下積みのみだったとしても、一つのことを続けていくということは非常に貴重なものを自分の中に築いていると思えます。ある新聞では、最近企業の方からクラブの下積みで努力してきた生徒を雇いたい

という話しも多くなりました。部活は、自己発見の絶好の場であるとも言えます。やはり根性で頑張ってほしいと思います。同窓生の皆様、またお暇な時は、母校へおとずれ後輩を指導して下さい。

運動部
バレーボール部、バスケットボール部、ソフトボール部、軟式テニス部、卓球部、剣道部、ダンス部、陸上競技部、ハンドボール部、バドミントン部、バトン部、サッカー部、フンドゥーホーゲル同好会、ジャズダンス同好会、器械体操同好会、硬式テニス同好会。

文化部
ESS部、YWCA部、美術部、放送部、演劇部、文芸部、家庭科部、茶道部、華道部、箏曲部、珠算部、タイポ部、音楽部、書道部、ギター部、漫画アニメ同好会、フォーキング同好会、写真研究同好会、地理研究同好会、理科実験愛好会、映画研究愛好会、電子工学愛好会、ブラスパンド愛好会、讃美歌コーラス愛好会、PFC愛好会、民族文化愛好会、以上。(バトン部) 顧問 芝原直美先生

昨年からは始めた対外的な活動を本年も行ない、良い経験をつむことができました。現在文化祭、体育祭を目指し、毎日練習に励んでいます。

昨年度対外参加(神戸まつり、おまつり行進五月)、神戸市土木局「道路を守る月間PRパレード八月)、西宮市民祭り演技八月)。

昭和60年8月「道路を守る月間」PRパレード



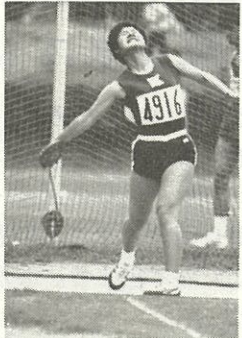
昭和60年8月「道路を守る月間」PRパレード

県大会に発揮し、良い成績が修められるようにと部員一同は張りきっています。どうかこれからもよろしくご指導の程お願い致します。

(陸上競技部) 顧問 国宝隆司先生
陸上競技部は、五十三年に創部、以来毎年県大会迄進んでおります。中でも兵庫県総合体育大会で決勝に残った時は、今でも充分自信をもって言えることです。その他私学大会では三位、神戸市大会では一位二位、このような成績を残しております。六十年においては、神戸市大会に勝ち残って兵庫県総合体育大会に出場しましたが、予選で落ちました。また私学大会では決勝に残り、十一月の神戸市民マラソンでは中学三年の部で五位に入賞しました。毎日毎日ただもくもくと練習することにより、ひとりひとりが努力と頑張り、良い結果にあらわれています。陸上の練習というのは、地味で目立たなく自分との戦いです。毎日生徒を見ていくと、苦しい日の連続だと思ふのですが、練習の厳しさ、縦横のつながり、こういったものが、後に社会に出た時に、必要とされる人間になるのではないかと思います。つつ、グラウンドの片隅で見守っています。

高校に入ってから始める初心者も最近は多く、あるレベルに達するのには時間がかかりますが、競技者として、人間として回りに迷惑のかからない好かれる子供達に育てたいと思っております。

又中学校での経験者も望んでおります。OGの諸君も暇があれば、学校もしくは試合等の競技場の方でも顔を出して後輩を励まし声をかけてほしいと思っております。



高2 栗山 あおい
昭和60年6月7・8・9日
高校総体出場(円盤投げ)

編集後記

※「金星」No.3 経費の都合上遅延いたしました。悪しからず。
※ 同窓会報作成有志募る!金星会事務所まで。